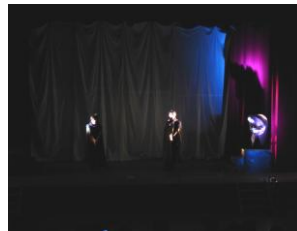


長野東高校演劇部 2013年ダイアリー

*2014年2月 長野市民演劇祭:長野市女性会館しなのき

『贗作マクベス』(作/中屋敷仁)上演 総合演出賞受賞

『贗作マクベス』は、シェイクスピアの『マクベス』の上演をしようとする演劇部の話で、稽古を進める中で、美川憲一風イングランド王が登場したり、ゴルゴ13風暗殺者や古畑任三郎が登場するといったハチャメチャな『マクベス』になっていきます。今年も昨年に引き続きは手作りの(お金がないこともあり)創意工夫あふれる大道具・小道具を作成しました。大道具は、学校の使い古しのカーテンをいただいて作り、バトンから吊り下げて使いました。劇中劇の『マクベス』で使用されるロザリオ・短剣などは顧問の先生が製作したかなり自信作です。



*2013年10月 県大会:県伊那文化会館

『全校ワックス』(作/中村勉)上演 優良賞受賞

北信大会終了後、県大会に向けて登場人物のキャラクター設定を細かく洗い直し、セリフのひとつひとつを吟味しました。大会直前まで話し合いを重ね、東高版『全校ワックス』が完成しました。本番では、自分たちなりの最高の舞台ができたと思います。照明でもホクト文化会館の舞台課の皆さんのアドバイスをいただき夕日が差し込む窓枠をうまく表現できました。審査員の方々からも「掃除の仕方が圧巻」などの好評価をいただき上位6校には入りましたが、残念ながら関東ブロック大会への出場はかないませんでした。



*2013年9月 なぎなたの稽古をしました

県大会出場が決まって、『全校ワックス』に出てくるなぎなたの構えや打ちこみを練習するために、上田染谷丘高校の金沢先生に来ていただき、なぎなたの基礎を教えてもらいました。実際になぎなたを手にしてみると実感がわきました。ありがとうございました。



*2013年8月 中学生体験入学:『サバの缶詰-短縮版-』(作/清水信一)上演

北信大会終了から3週間で新しい作品に取り組みました。中学生体験入学での上演用に、4年前に顧問の清水先生が書いた『サバの缶詰』を30分短縮版に書き直していただき上演しました。1年生5人だけでキャストにつき、そのために原作の母親役を父親に変更してもらいました。手作りの照明機材もバージョンアップして、素敵な舞台になりました。



*2013年8月 北信大会:千曲市あんずホール

『全校ワックス』(作/中村勉)上演 金賞受賞 長野県大会出場決定

文化祭から1カ月。作者の中村先生から送ってもらったDVD(全国大会で入賞した甲府昭和高校の舞台)を何度も見て研究しました。さすが、全国出場校、関東大会上演時の脚本と大きく変わっていて驚きました。直前の通し稽古で60分をオーバーすることがあり、場面ごとに細かく時間設定をし、舞台監督を中心にチェックする体制を整えました。

本番は上演順がいちばん最後に緊張しましたが、思い切った芝居ができました。その結果、3人の講師の先生すべてに1位にあげていただき、金賞を受賞し、2年連続の県大会出場を決めることができました。



*2013年7月 東雲祭:『全校ワックス』(作/中村勉)上演

「全校ワックス」(作/中村勉)を上演しました。2006年の全国大会で優秀賞をとった作品です。全校ワックスのために偶然集まった5人の生徒、それぞれが高校生活や人間関係に悩みを抱えて……。ワックスがけを通じて、ちょっぴり成長するものがたりです。



*2013年6月 東部中学校の演劇部の生徒さんが見学に訪れました

長野市立東部中学校演劇部の顧問の先生と生徒さんが練習を見学に訪れました。みんなで意見を出し合いながら芝居を作っていることや、声の大きさなどに驚いた様子でした。

*2013年5月 会議室の壁塗り&演劇講習会&バックステージツアー

校舎内の壁塗りのボランティアを実施しました。今年はだいぶ古くなりひび割れていた会議室の壁のペンキを塗りました。大道具作りの練習を兼ねて昨年から始めたものです。(写真右上)



ホクト文化会館主催の「演劇講習会」に2日間参加しました。初日は会館舞台課の皆さんによる技術講習会で、大道具・照明・音響の3部門に分れて参加しました。2日目は「劇団うりんこ」の原田邦英先生による演技講習会でした。(写真左)

学校行事の芸術鑑賞で劇団青年劇場の『野球部員、舞台に立つ』を観劇しました。舞台終了後、バックステージツアーや役者さんたちを囲んでの交流会をしていただきました。(写真右下)



*2013年4月 1年生5名入部 2年生4名、3年生4名の計13名でスタート

新入生歓迎公演は顧問の先生の創作脚本『おいしい「サバ缶」の創り方～「サバの缶詰」エピソード3～』を上演しました。ある高校の演劇部が地区大会の脚本に頭を悩ましたり、その後の稽古でトラブル続出という、限りなく実話に近い物語でした。本番直前に作者でもある顧問の先生が骨折で入院して本番を観てもらうことはできませんでしたが、精一杯の舞台をつとめました。

1年生が5名入部し(男子も1名入部)、全員で13名の大所帯となりました(2名が兼部です)。